

群馬県の観光情報9月号

令和6年(2024)年9月17日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の県発表

No.	情報提供元	内 容
1	「麺-1グランプリin館林」実行委員会(群馬県・館林市・JA邑楽館林・館林商工会議所)	第10回麺-1グランプリin館林～Grand Championship～

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	第5回土屋文明記念文学講座「鷗外と漱石の接点」	P.1
2	群馬県立館林美術館	スペインの巨匠・ミロ 版画の宇宙	P.1
3	大泉町観光協会	活きな世界のグルメ横丁	P.2
4	群馬県立日本絹の里(高崎市)	特別展「手まり展～絹彩でかがる美しき立体世界～」	P.2
5	高崎市タワー美術館	「春夏秋冬◇四季巡り」	P.3
6	高崎市染料植物園	企画展「ラックの魅力」	P.3
7	原美術館ARC(渋川市)	講演会 Meet the Artist: 東芋『秋の夜長の東芋語り/第二夜』	P.4
8	沼田市観光交流課	上州沼田真田まつり	P.4
9	沼田市産業振興課	ぬまた市産業展示即売会	P.5
10	沼田市農林課	沼田市ピクニックフォトコンテスト	P.5
11	(一社)沼田市観光協会	たんばら高原星空観察会	P.6
12	前橋文学館(前橋市)	「現在(いま)を編集する一月刊「新潮」創刊120周年記念展」	P.6
13	前橋文学館(前橋市)	朔太郎音楽祭2024 マンドリンオーケストラ演奏会	P.7
14	群馬県立歴史博物館(高崎市)	富岡製糸場と絹産業遺産群世界遺産登録10周年記念第110回企画展	P.7

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	「麺-1グランプリin館林」実行委員会(群馬県・館林市・JA邑楽館林・館林商工会議所)	第10回麺-1グランプリin館林～Grand Championship～
2	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	第5回土屋文明記念文学講座「鷗外と漱石の接点」
3	群馬県立館林美術館	スペインの巨匠・ミロ 版画の宇宙
4	大泉町観光協会	活きな世界のグルメ横丁
5	群馬県立日本絹の里(高崎市)	特別展「手まり展～絹彩でかがる美しき立体世界～」
6	高崎市タワー美術館	「春夏秋冬◇四季巡り」
7	高崎市染料植物園	企画展「ラックの魅力」
8	原美術館ARC(渋川市)	講演会 Meet the Artist: 束芋『秋の夜長の束芋語り/第二夜』
9	(一社)沼田市観光協会	たんばら高原星空観察会
10	沼田市農林課	沼田市ピクニックフォトコンテスト
11	前橋市文化国際課	「現在(いま)を編集する一月刊「新潮」創刊120周年記念展」
12	前橋市文化国際課	朔太郎音楽祭2024 マンドリンオーケストラ演奏会

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

群馬県立土屋文明記念文学館【高崎市】

第5回土屋文明記念文学講座「鷗外と漱石の接点」

土屋文明記念文学講座は、歌人土屋文明の業績を記念し、短歌をはじめとして文学全般をテーマに、令和4年度から毎年2回開催しています。

第5回は「鷗外と漱石の接点」という演題で、早稲田大学名誉教授、日本近代文学館理事長の中島国彦氏にお話しいただきます。

森鷗外の『舞姫』や『高瀬舟』、夏目漱石の『坊ちゃん』や『こころ』など、2人の作品は中学校や高等学校の教科書で長年にわたり掲載されています。本講座で、森鷗外と夏目漱石についてさらに深く学んでみてはいかがでしょうか。

本講座の参加には事前申込ならびに常設展観覧券が必要です。申込方法や講座の詳細は、当館ホームページをご覧ください。

<https://bungaku.pref.gunma.jp/>



日時 令和6年10月5日（土）14:00～15:30（13:30～受付）

場所 〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000
群馬県立土屋文明記念文学館

交通 ◆車：関越自動車道前橋ICから約15分
◆タクシー：JR高崎駅西口から約30分

担当 群馬県立土屋文明記念文学館 TEL 027-373-7721

チラシ

県立館林美術館【館林市】

スペインの巨匠・ミロ 版画の宇宙

バルセロナに生まれた芸術家ジョアン・ミロ（1893-1983）は、ピカソ、ダリと並び20世紀を代表するスペインの巨匠として広く親しまれています。故郷の明るい陽射しと大地を愛し続けたミロは、太陽、月、星、鳥などの自然をモチーフに、それらを大胆に抽象化しながら詩的で宇宙的な世界を色鮮やかに表現しました。

ミロは様々なジャンルで制作を行いましたが、油彩に並びライフワークとして取り組んだのが版画でした。1928年に35歳で本格的に始めた版画の技法は、ステンシル、エッチング、木版、リトグラフなど多岐にわたり、実験と探求を繰り返しながら、90年にわたる生涯で2,500点以上もの版画を世に送り出しました。

本展は、ミロの初期から晩年までの約150点の作品で構成されます。線と色で謳う造形の詩人、ジョアン・ミロの世界をお楽しみください。

最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

【美術館HP】<https://www.gmat.pref.gunma.jp/>

日時 ◆令和6年9月28日（土）～12月15日（月）

場所 ◆群馬県立館林美術館

交通 ◆東武伊勢崎線多々良駅から約1.2km(徒歩20分)
◆東武伊勢崎線館林駅から約4km(タクシー東口より10分)

担当 ◆学芸係 伊藤香織（TEL 0276-72-8188）



《女と鏡》1956年 © Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2024 G3555

活きな世界のグルメ横丁【大泉町】

世界がぎゅ〜っと、おいずみ！

世界のパフォーマンスがすごい！毎回情熱のサンバステージ!!

- ・ブラジルのシュラスコ串
- ・キャッサバポテトやコロッケなどの揚げ物
- ・ブラジル風ピザ 等

参加店舗は約21店舗。世界のグルメが盛りだくさん！

ステージも世界各国のショーが楽しめます！入場観覧料無料！

本部では世界のミニ国旗の販売や大泉町の観光マップの配布もしております。

ぜひ立ち寄ってみてください。

【ホームページのグルメ横丁情報】<https://www.oizumimachi-kankoukyoukai.jp/event/310/>

インターナショナルタウン大泉町を楽しもう！



グルメ横丁チラシ

日時	2024年9月22日・10月27日・11月24日 第4日曜日11:00～16:00
場所	いずみ緑道 花の広場（群馬県邑楽郡大泉町坂田2-1）
交通	東武小泉線西小泉駅から南へ徒歩約3分
担当	大泉町観光協会 TEL0276-61-2038

群馬県立日本絹の里 特別展【高崎市】

特別展「手まり展～絹彩でかがる美しき立体世界～」

手まりは小さな球体に美しい世界を表現し、子どもの成長や家の繁栄を願い、親や年長者から若い人へ贈られた伝統工芸品です。本展では、美しく、色鮮やかな手まりを展示し、絹の魅力についてご紹介します。

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

日時	◆会期：令和6年11月2日（土）～12月16日（月） ◆開館時間：9時30分～17時 ◆休館日：火曜日
場所	◆群馬県立日本絹の里（群馬県高崎市金古町888-1）
交通	◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約20分
担当	◆群馬県立日本絹の里（担当：東條）Tel.027-360-6300



（チラシ表面）

高崎市タワー美術館【高崎市】

「春夏秋冬◇四季巡り」

うらかな陽ざしに包まれた春、草花が灼熱の太陽を浴びて色濃く咲き誇る夏、山野が次第に色づく秋、凍てつく空気に淡い陽の光がきらめく冬。この世界は一年を通して彩りに満ちています。

本展覧会では、四季折々の風景や情景を描いた作品によって、自然の移り変わりの美しさを感じていただきます。春は花々が満開になる様子を、夏には青々と茂る木々や鮮やかな植物の姿、秋には紅葉に染まる山岳や収穫の喜びを、そして冬には雪景色や寒さの中に輝く光を表現した作品を展示いたします。作家たちがそれぞれの季節に感じたインスピレーションを形にした作品を通じて、四季の移ろいとその魅力を心ゆくまでお楽しみください。

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/tower/45332.html>

日時	◆令和6年9月28日(土)～11月17日(日)	 <p>鈴木竹柏《大和の春》2004年 高崎市タワー美術館蔵</p>
場所	◆高崎市タワー美術館(高崎市栄町3-23)	
交通	◆JR高崎駅東口より徒歩2分	
担当	◆高崎市タワー美術館(027-330-3773)	

高崎市染料植物園 企画展「ラックの魅力」 【高崎市】

天然染料ラックを知る

正倉院に「紫鉱」として伝わる天然染料ラック(Lac)は、南アジアから東南アジアの一部地域に生息、養殖もされるラックカイガラムシの分泌物から得られる貴重な赤色染料です。そして、染料としてだけでなく、樹脂、接着剤など幅広い用途があり、珍しい天然素材です。

本展覧会では、カンボジア、インド、ブータンなど、ラックによって染められたアジア地域の伝統的な技法による染織品を中心としつつ、ラック樹脂を用いた工芸品を展示、染料だけではない、多様な可能性に富んだ天然素材であるラックの魅力を紹介します。

〔高崎市染料植物園〕<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/senryou/>
展覧会のプレスリリースは、以下のURLからダウンロードできます。
<https://logoform.jp/form/h8ij/721423>

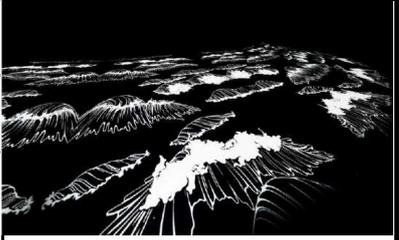
日時	◆10月4日(金)～11月24日(日) 9時～16時30分	 <p>ラック、背景はラック染の布</p>
場所	◆高崎市染料植物園 染色工芸館	
交通	◆電車：JR高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 高崎ICから約30分	
担当	◆高崎市染料植物園 (TEL 027-328-6808)	

講演会 Meet the Artist: 東芋 『秋の夜長の東芋語り/第二夜』【渋川市】

ジャンルを超えたコラボレーションで活動の幅を広げる、東芋氏によるスペシャルナイト

今秋より原美術館ARCにて開催される展覧会〈心のまんなかでアートをあじわってみる〉関連イベントとして、東芋氏によるアーティストトークを開催いたします。本展では、好評を博しているセミパーマネント作品『真夜中の海』の展示に加えて、近松門左衛門の人形浄瑠璃『曾根崎心中』を映像インスタレーションとして作品化した『糸口心中』の当館（コレクション）初公開も予定しています。近年の多岐にわたる創作活動で気づいたご自身の変化などを、青野和子館長を聞き手に、これまでの活動を振り返りながらじっくりとお話しいただきます。前回のこの会場での「東芋語り」からはや8年、どうぞ奮ってご参加ください。

<https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/event/1695/>

日時	2024年10月13日（日）16:15-17:45（開場 15:45）	
場所	原美術館ARCカフェ ダール	
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8 km、約15分。	
担当	学芸部 山川	

東芋《真夜中の海》2006年 ビデオインスタレーション © Tabaimo 撮影:木暮伸也

令和6年度 上州沼田真田まつり【沼田市】

真田氏時代にタイムスリップ！

沼田市には、かつて、真田氏が整備した5層の天守閣を持つ沼田城がありました。現在は桜の名所としても有名な沼田城址として市民に親しまれています。そんな由緒ある公園で上州沼田真田まつりを開催します。公園内に潜んでいる武将を探すスタンプラリーや武者行列、キッズ戦国体験、そして鉄砲隊による大迫力の火縄銃演舞などを行います。他にも市内でお得に買い物ができる食べあるき買物チケットの販売や公園内歴史ガイドツアーなど魅力的なイベントが盛りだくさん。ステージでは戦国茶屋娘のパフォーマンスや真田氏に縁のある武将隊の演舞も予定しています。

また、隣接会場では10月12日（土）、13日（日）の2日間、ぬまた市産業展示即売会を開催します。

詳細は右記QRコードからご覧ください。



日時	10月12日（土） 10時～15時	
場所	沼田城址（沼田市西倉内町594）	
交通	電車：JR上越線沼田駅から徒歩約15分 自動車：関越自動車道沼田ICから約10分	
担当	沼田市観光交流課 0278-23-2111	

昨年の様子

令和6年度 ぬまた市産業展示即売会【沼田市】

沼田の「いいもの」大集合!!

沼田市の生産品、工芸品など幅広いジャンルの「沼田のいいもの」を多数集めて展示即売を実施します!!他にもステージイベントも開催され、幅広い年齢層の方にお楽しみいただけます!!巨大焼きまんじゅうや巨大こんにやくの切り分けプレゼントなど楽しいイベントが目白押しです。広く内外に宣伝・紹介を行い、販路拡大を図るイベントになっています。

また、隣接会場では10月12日（土）に上州沼田真田まつりを開催します。



詳細は右記QRコードからご覧ください。

日時	10月12日（土） 10時～16時（9時30分から開場式） 10月13日（日） 10時～15時 ※天候の急変等により終了時間を短縮する場合あり	 <p>昨年の様子</p>
場所	沼田城址公園グラウンド（沼田市西倉内町594）	
交通	電車：JR上越線沼田駅から徒歩約15分 自動車：関越自動車道沼田ICから約10分	
担当	沼田市産業振興課 0278-23-2111	

第7回沼田市ピクニックフォトコンテスト【沼田市】

りんごの木の下で、美味しい時間を♪

沼田ピクニックでは、第7回インスタグラムフォトコンテストを開催します。対象のりんご園でピクニックやりんご狩りを楽しんだら、撮影した写真に「#沼田ピクニック」「#来園したりんご園名」をつけてインスタグラムで投稿してください♪入選者には、老神温泉ペア宿泊券や特産品など沼田を楽しめる賞品をプレゼントします！沼田ピクニック参加園では、ピクニックセットの貸出をしています。真っ赤なりんごが実る木の下で、癒やしと美味しい時間を過ごしてみたいはいかがですか？

◆沼田ピクニックInstagramアカウント：@numatapicnic



詳細は右記QRコードからご覧ください。

日時	9月6日（金）～11月27日（水）	 <p>R5年度最優秀賞</p>
場所	沼田市内 沼田ピクニック参加りんご園8園（染谷りんご園、果実庭、あっちゃんりんご園、田村りんご園（※今シーズン田村りんご園では凍霜害によりピクニックサービスを実施していません）、滝沢りんご園、りんごの家山口果樹園、原田農園、香里園）	
交通	電車：JR上越線 沼田駅からバスで約10分～30分 車：関越自動車道 沼田ICから約3分～20分	
担当	沼田市農林課 0278-23-2111	

2024年たんばら高原星空観察会【沼田市】

幻想的な沼田の夜空に包まれるひととき

群馬県沼田市、標高1,300mの場所にある玉原高原。人工の光に妨げられることなく満天の星々を望むことができます。天体望遠鏡、双眼鏡複数台を使いながら天体の解説を行います。天気が良ければ『天の川』がみられることも！
※雨天の場合は、たんばらコキアガーデン内レストランにて、オリジナルの資料にて解説を行います。

お申し込みは右記QRコードからお願いいたします。



日時	9月27日（金）、9月28日（土）、10月4日（金）、10月5日（土）19時30分～20時30分（19時から受付）	
場所	たんばらコキアガーデン（群馬県沼田市上発知町玉原高原）	
交通	自動車：関越道沼田ICから約30分	
担当	（一社）沼田市観光協会 0278-25-8555	

「現在（いま）を編集する一月刊「新潮」創刊120周年記念展」【前橋市】

「現在（いま）を編集する一月刊「新潮」創刊120周年記念展」

いまから120年前の1904（明治37）年、日本屈指の文芸誌として名高い「新潮」は日露戦争のさなかに創刊されました。以来、関東大震災直後と第2次世界大戦の一時期をのぞき休むことなく刊行され、巻数は世界最多を数えます。激動する世界と向き合い、想像力や言葉をもって対峙する文学者の表現の舞台として、「新潮」は時代とともに走りつづけてきました。また新潮社は、萩原朔太郎賞開催における長年の協力先として、前橋市とゆかりの深い出版社でもあります。

本展では「新潮」創刊120周年を記念し、新潮社の特別協力のもと、展示室を1冊の本にみたてた展示を展開し、膨大な数のバックナンバーや本展に寄せられた「新潮」ゆかりの作家たちからのメッセージ、「新潮」7大事件、作家の肉声による著書の紹介など、貴重な資料の数々をご紹介します。

編集とは「選んで綴じる」ことだと、ある編集者は言います。現在（ルビ：いま）を編集する「新潮」のこれまでとこれからを、ぜひご覧ください。

関連イベント

◎「リーディングシアター 三島由紀夫「近代能楽集」より「葵上」「弱法師」

日時 11月24日（日） 13時30分開演（開場13時）

◎対談 九段理江（「東京都同情塔」にて第170回芥川賞受賞）×杉山達哉（「新潮」編集長）司会 風元正（新潮社）

日時 12月14日（土）14時開演（開場13時30分）

（いずれも）会場 3階ホール、定員 100名

※当日有効の展示観覧券が必要です。（リーディングシアターは1演目につき1枚）

※申込（先着順）は10月26日（土）9時より前橋文学館へ（Tel：027-235-8011）

日時	令和6年10月5日（土）～令和7年1月26日（日）	
場所	前橋文学館（前橋市千代田町3-12-10）	
交通	電車：JR前橋駅北口から徒歩約15分。上毛電鉄中央前橋駅から徒歩5分 自動車：関越自動車道 前橋I.Cから車で約15分	
担当	文化スポーツ観光部文化国際課文学館（TEL027-235-8011）	

新潮展フライヤー表

朔太郎音楽祭2024 マンドリンオーケストラ演奏会 【前橋市】

響け、弦の調べ！心躍るマンドリンオーケストラ演奏会開催

来たる10月19日（土）、昌賢学園まえばしホール大ホールにて、朔太郎音楽祭2024 マンドリンオーケストラ演奏会が開催されます。繊細な弦の音色と情熱的なリズムが織りなす魅惑のハーモニーが、聴衆を魅了します。
演奏会は3部構成です。指揮はマンドリン音楽の第一人者で朔太郎音楽祭・音楽監督の青山忠（あおやま ただし）さん。また第2部 朔太郎を歌うでは、テノール歌手の布施雅也（ふせ まさや）さん、ピアノ伴奏 大野真由子（おおの まゆこ）さんが出演。
心響く生の演奏を、ぜひこの機会にご堪能ください。
当日は、入場無料です。

日時 10月19日（土）14時00分開演（13時00分開場）

場所 昌賢学園まえばしホール 大ホール
（前橋市南町3-62-1）

交通 電車：JR両毛線・前橋駅南口から徒歩8分
車：関越自動車道・前橋ICから車で20分

担当 ～マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭実行委員会
（事務局・前橋文学館内）TEL027-235-8011



昨年度音楽祭、演奏時様子

群馬県立歴史博物館 第111回企画展【高崎市】

弥生人は二度死ぬ—再埋葬ってなに？—

群馬県は弥生時代の再埋葬の中心地の一つです。再埋葬とは遺体を一度土中に埋めたり、さらしたりして白骨化させた人骨を土器に納め、再び埋葬することでつくられた墓のことです。現代の私たちからすると、特殊な葬法に見える再埋葬はどうしてつくられたのでしょうか。

本展では、はじめに西日本を代表する吉野ヶ里遺跡出土品と東日本の再埋葬出土品が登場します。次に、再埋葬研究のきっかけとなった岩櫃山鷹の巣岩陰（いわびつやまたかのすいわかげ）遺跡（東吾妻町）から出土した土器が里帰りし一堂に会します。さらに、再埋葬を営んだ人々の住まいや生業などの暮らしぶりを新しい分析方法による成果を踏まえわかりやすく展示します。

また、沖縄地方では洗骨葬（せんこつそう）というよく似た葬法が近年まで行われていました。沖縄以外で初公開となる写真と厨子甕（ずしがめ）（骨蔵器）で洗骨を紹介します。近年の研究を通じ、なぜ弥生人が二度死ぬのかを探ります。

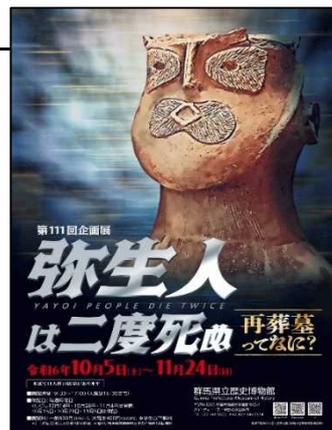
【当館HP】<https://grekisi.pref.gunma.jp/>

日時 ◆2024年10月5日（土）～2024年11月24日（日）
9時30分～17時（入館は16時30分まで）

場所 ◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）

交通 ◆車：上信越自動車道の「藤岡IC」より約10分。
関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。
北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。
アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。
◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。

担当 ◆学芸係 石田 典子（027-346-5522）



第111回企画展ポスター